

# 雪舟

Sesshu Summit

ゆかりの5市

## 山口県 山口市

### ご挨拶 「サミットに寄せて」

山口市長 伊藤 和貴



雪舟ゆかりの自治体が、井原市に集い、第二〇回雪舟サミットが開催されますことを心からお祝い申し上げます。井原市長様をはじめ、本サミット開催に向けてご準備くださいました関係者の皆様に変感謝しているところでございます。この機会を契機として、画僧雪舟にゆかりのある自治体相互の連携が一層深まり、多様な交流が生まれることを願っております。

### 市の紹介

山口市は、山口県のほぼ中央に位置する人口約十九万人の県庁所在都市です。北は中国山地、南は瀬戸内海に面する南北に長く広大な市域を有しています。室町時代には、西国一の守護大名である大内氏が京都を模範としてまちづくりを進めるとともに、東アジア各地と積極的に交易したことで、国際的な文化と雅びな京文化が融合した「大内文化」が花開きました。中でも国宝「瑠璃光寺五重塔」は、大内文化の最高傑作であり、山口市のシンボルとして多くの市民に愛されています。市内には、大内氏ゆかりの史跡や建造物が残るほか、山口祇園祭や、伝統工芸品である大内塗、大内人形など大内文化を今に伝えるものが数多くあります。また、イラストや画像を多く用いて、大内氏・大内文化を楽しむ、分かりやすく紹介した『西国一の御屋形様 大内氏がわかる本（入門編・興亡編・文化交流編）』を刊行いたしておりますのでこちらもご覧いただければ幸いです。

### 雪舟とのつながり

雪舟は、大内氏の遣明船で中国大陸に渡り、帰国後、各地を遊歴した後、山口に落ち着きました。雪舟がアトリエにしたとされる「雲谷庵跡」では、国宝「四季山水図（山水長巻）」を描いたとされ、この地から西方に、雪舟も見ていたであろう国宝「瑠璃光寺五重塔」を望むことができます。国の史跡及び名勝に指定されている常栄寺庭園は、大内政弘の命により雪舟が作庭したと伝わります。室町時代を代表するともいわれる滝石組を遠景として、池泉や枯山水の石組が配された庭園は、雪舟の絵画作品との類似性が指摘されており、四季折々に美しい姿を見せてくれます。このほかにも国指定名勝常徳寺庭園など伝雪舟作とされる庭園が市内には複数残っています。また、令和五年六月には、江戸時代に描かれた雪舟の肖像画二幅が国の重要文化財に指定され、現在、山口県立美術館で公開されていますので、この機会に足を運んでご覧ください。



『絹本着色雪舟等楊像』常栄寺蔵

常栄寺庭園